

土木学会関東支部技術研究発表会 優秀発表者賞受賞！

栗原勇典君

2011年3月10日～11日に法政大学市ヶ谷校舎で開催された、第38回土木学会関東支部技術研究発表会において、社会環境デザイン工学科コンクリート研究室4年の栗原勇典君(現在、修士1年)が、優秀発表者賞を受賞しました。土木の全分野から計15名、コンクリート分野(V部門)からは2名のみの受賞と、受賞者の数が非常に少なく、貴重な受賞といえます。平成3年度から今回までの群馬大学関係者の受賞は8件あり、一昨年度の森田卓君の受賞から2年ぶりの受賞となりました。栗原君には、5月19日の表彰式において、表彰状とともに、副賞として記念の腕時計が贈呈されました。

栗原君の研究発表のタイトルは「鋼製軽量モールドによる膨張コンクリートの簡易膨張性能評価」で、本専攻の半井健一郎准教授、清水建設株式会社の橋田浩氏、辻埜真人氏との連名によるものでした。高性能なコンクリートである膨張コンクリートの評価に着目し、橋田浩氏と辻埜真人氏が新たに開発した簡易評価手法の適用性や理論的裏付けを行った研究でした。実用性が非常に高い手法の開発とともに、手法の妥当性を学術的に裏付けられたことで今後の普及が期待されます。これらの優れた研究内容とともに、わかりやすい発表や的確な質疑応答が高く評価されました。

なお、本研究は、栗原君の卒業研究の内容の一部を取りまとめたものであり、本学科の発表会においても優秀発表者賞を授与されております。本学科の研究活動の質の高さが、学外でもあらためて認められる機会となりました。

